

2015年12月期 通期決算説明会

アプリックス I Pホールディングス株式会社
2016年2月15日



2015年12月期通期決算実績

取締役 CFO 長橋 賢吾

2015年12月期 通期決算 P/L



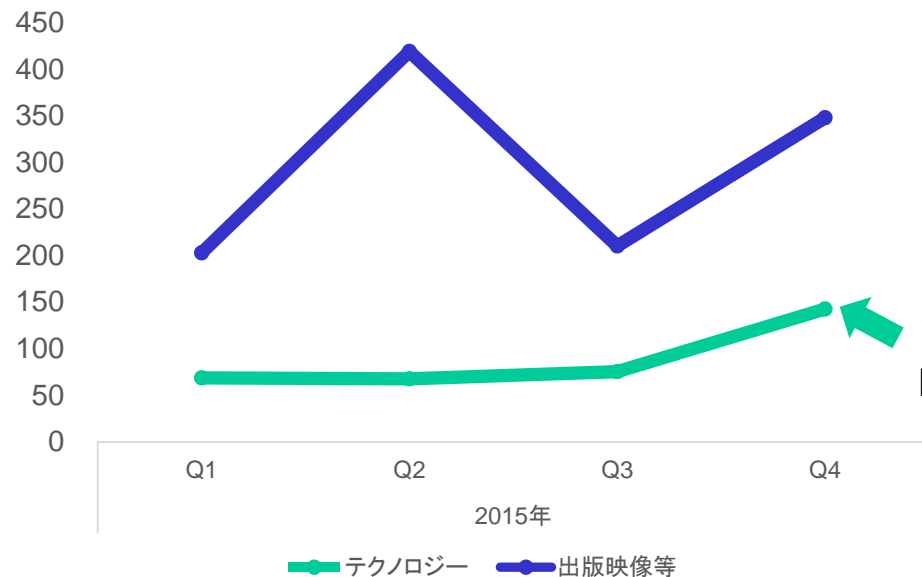
(単位:百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	EPS(円)
2014年12月期 (A)	2,172	△2,766	△2,672	△3,311	△264.08
2015年12月期 業績修正値	1,546	△2,410	—	—	—
2015年12月期 実績(B)	1,532	△2,406	△2,391	△2,903	△228.75
増減額(B-A)	△640	+ 360	+ 281	+ 408	—
増減率(%)	△29.5	—	—	—	—

2015年12月期通期については、同期Q3に発表した業績修正並みの着地
 →売上、コスト管理の精度が上昇、IoTソリューション案件の収益化

2015年12月期 売上高セグメント推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2015年			
	Q1	Q2	Q3	Q4
テクノロジー	68	67	75	142
出版映像等	203	419	210	348
(売上高合計)	271	486	285	490

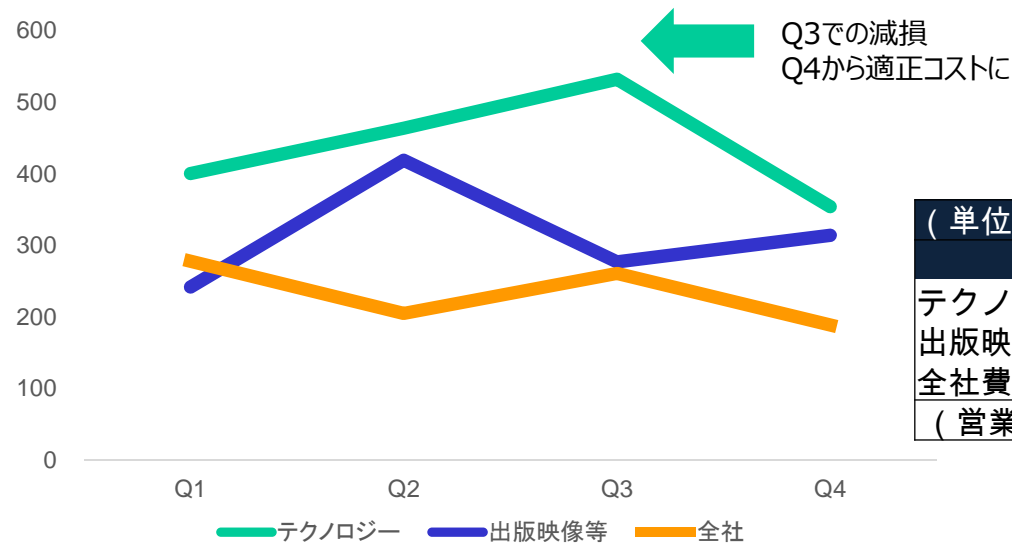
IoTソリューション
開発案件が寄与

- ✓ テクノロジー事業：Q4でのIoTソリューション開発案件の売上計上による伸長
- ✓ 出版事業：通年でコミック単行本(新刊42点、増刷65回)ならびに、絵本児童書作品での売上が拡大

2015年12月期 営業費用セグメント推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2015年			
	Q1	Q2	Q3	Q4
テクノロジー	400	464	532	354
出版映像等	242	419	277	314
全社費用	278	205	261	189
(営業費用合計)	920	1,088	1,070	857

- ✓ テクノロジー事業：Q3での減損実施以降、Q4から適正コストに
- ✓ 出版事業：適正コストで通年推移

2016年12月期 通期業績予想



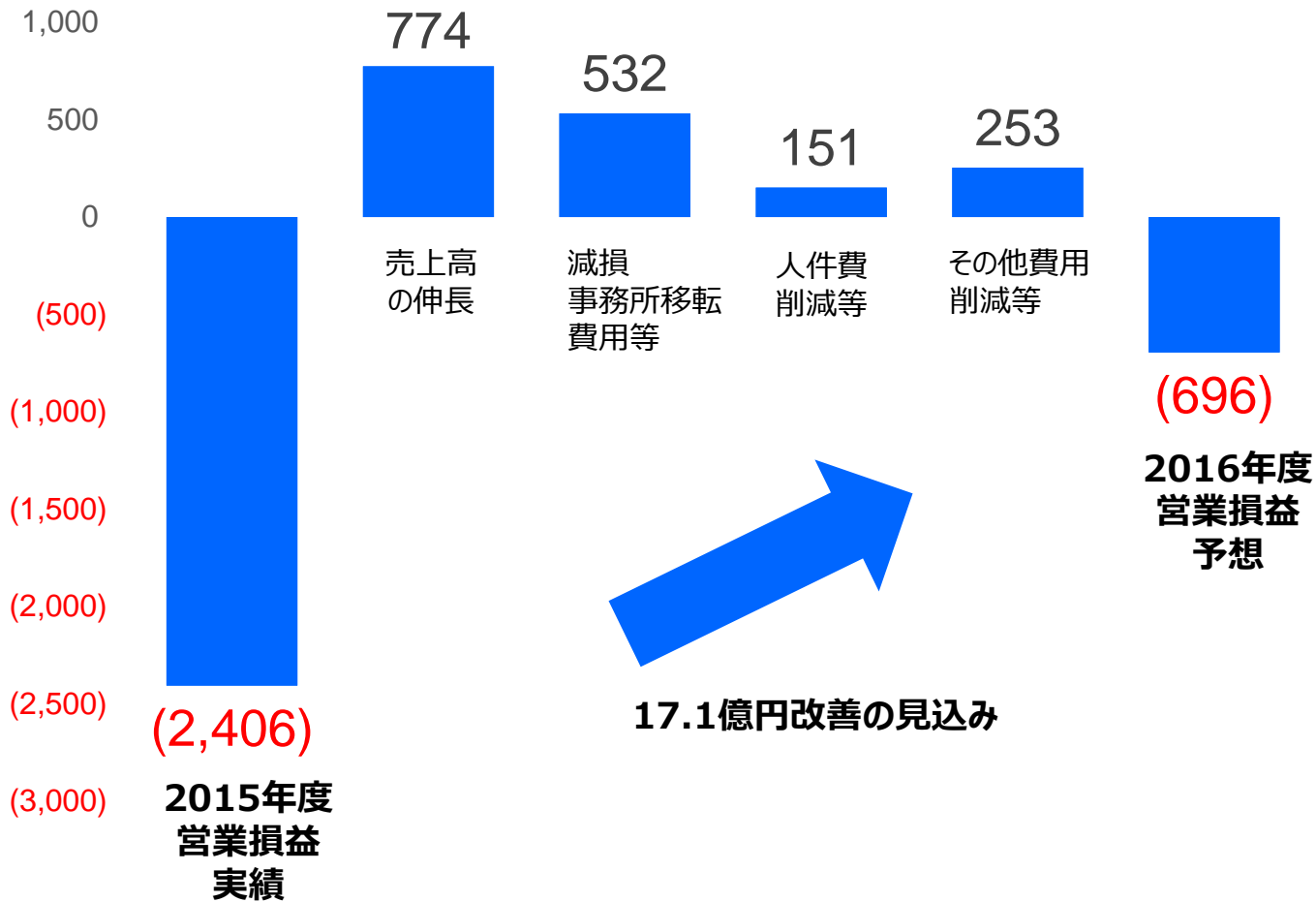
(単位:百万円)	売上高	営業利益
2015年12月期 (A)	1,532	△2,406
2016年12月期 業績予想	2,306	△696
増減額(B-A)	+774	+1,710
増減率(%)	+50.5%	—

- ✓ テクノロジー事業がIoTソリューション開発案件で大幅に伸長、さらなる受注拡大による売上増加と継続的なコスト削減により営業黒字化を目指す

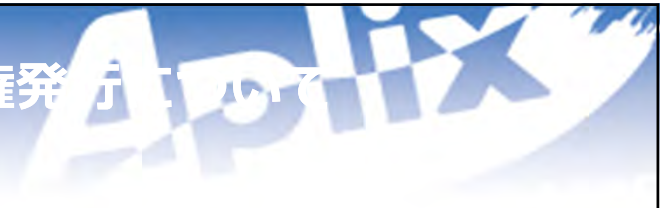
2016年12月期 業績予想



2015年12月期営業損失、2016年12月期予想との差異



第3者割当による行使価格修正条項付第M-1回新株予約権発行について



割当日	平成28年2月29日
発行新株予約件数	16,000個
当該発行による潜在株式数	1,600,000株 発行済株式の12.55%
調達金額（総額）	1,093,440,000円
割り当て方法	第3者割当の方式により、マッコーリー・バンク・リミテッドに割り当てる。
行使価額及び行使価額の修正条件	当初行使価額 678円 下限行使価額 339円
発行の目的	顧客からのIoTソリューション案件の受注が拡大。一方で、顧客からの支払サイトが長く、協力会社への支払サイトが短い状況であり、この制約を解消することで、さらなるIoTソリューション案件の受注獲得を拡大する。
資金用途	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 顧客から受注した案件のIoTソリューションを提供するために必要なアプリ開発費用 245百万円 ✓ IoTソリューションを顧客へ提供するためのソフトウェア開発費用 519百万円 ✓ IoTモジュールを顧客へ提供するためのハードウェア基板製造費用 225百万円
追記事項	<ul style="list-style-type: none"> ✓ マッコーリー・バンク・リミテッドとの貸株契約はなし ✓ マッコーリー・バンク・リミテッドは、新規発行株式の大部分を機関投資家に直接売却することを想定しており、株価に与える影響は限定的かつ消化可能であると想定

海外事業責任者

海外



郡山 龍(CEO)
ハードウェア
組込家電担当
組込Java「JBlend」で
世界シェア3割獲得

- ✓ 浄水器、ペット向けメーカーを中心にてIoTソリューションの提供・コンサルティング・販売
- ✓ 主要顧客：OurPet's Franke Aquasana など

国内事業責任者

国内



石黒 邦宏(CTO)
元ACCESS CTO
IoTプラットフォーム・サービス担当
ネットソフトZebraが
世界標準に

- ✓ 国内大手企業向けカスタマイズIoTソリューションの展開、受託開発が中心
- ✓ 主要顧客：パイオニアなど

アプリックスのIoT事業

代表取締役 CEO 郡山 龍

ECコマースや情報サービスによる収益パターン

市場規模

(大)

1. 純正サプライ

- 従来把握できなかった消耗品の適切な交換時期を通知
- 海外大手浄水器メーカーによる需要が拡大
- 例：浄水器、空気清浄機など

2. ECコマース

- 関心が最も高まったタイミングで関連商品・サービスを促進
- 海外大手ペット用品メーカーによる採用が加速
- 例：ペット用品、アロマディフューザーなど

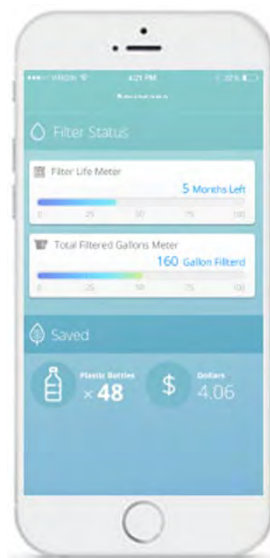
3. 情報サービス

- ユーザーの趣味趣向や状況に応じた情報サービスを提供
- 国内情報サービスプロバイダーとコーヒープロジェクトを推進
- 例：コーヒーマーカー、加湿器、美容家電など

浄水器の利用状況を通知し、
フィルターを購入できるECサイトへ誘導



浄水器



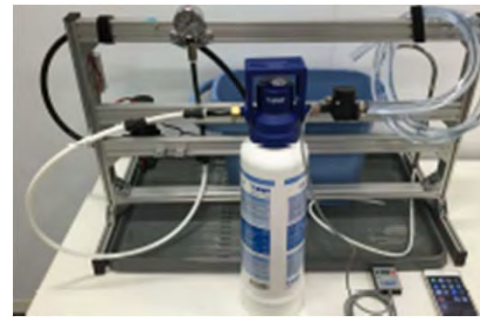
利用状況



フィルター交換

海外浄水器市場での需要が拡大

Aplix



IoT x ペット用品



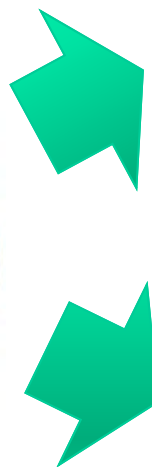
ペットの日常行動を把握。ペット関連商品やペット向け保険・医療等のサービス提案が可能



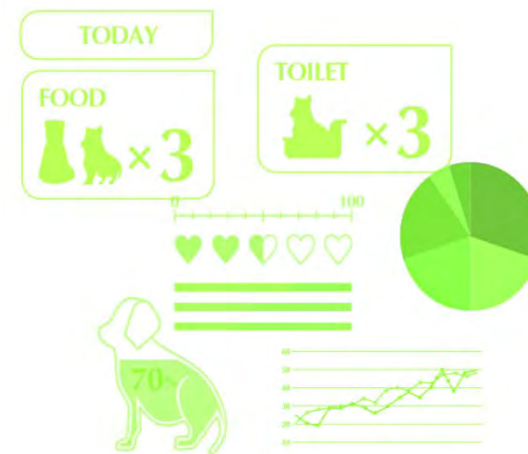
ペット用品



ペットの日常行動



ペット関連商品



ペット健康管理サービス

ペット用品市場でのEコマースを促進



北米のペット用品小売店の売上総額

\$ 175億

北米のペット用品のオンライン販売総額

\$ 36億

オンライン販売の今後の年間成長率

6.3%



※上記数字の典拠：米国の市場調査会社、IBISWorld Inc.による「Online Pet Food & Pet Supply Sales in the US (2015年9月)」及び「Pet Stores in the US (2015年12月)」

IoT x 一般家電（コーヒーメーカー）



コーヒーができたことを通知するだけでなく、
利用者の趣味趣向や状況に応じた情報サービスを提供



コーヒーメーカー

できあがったことを通知

様々な情報サービスを提供

家電製品向けIoT用アナログ半導体開発



積み上げてきたノウハウを活かし、IoT用アナログ半導体を開発

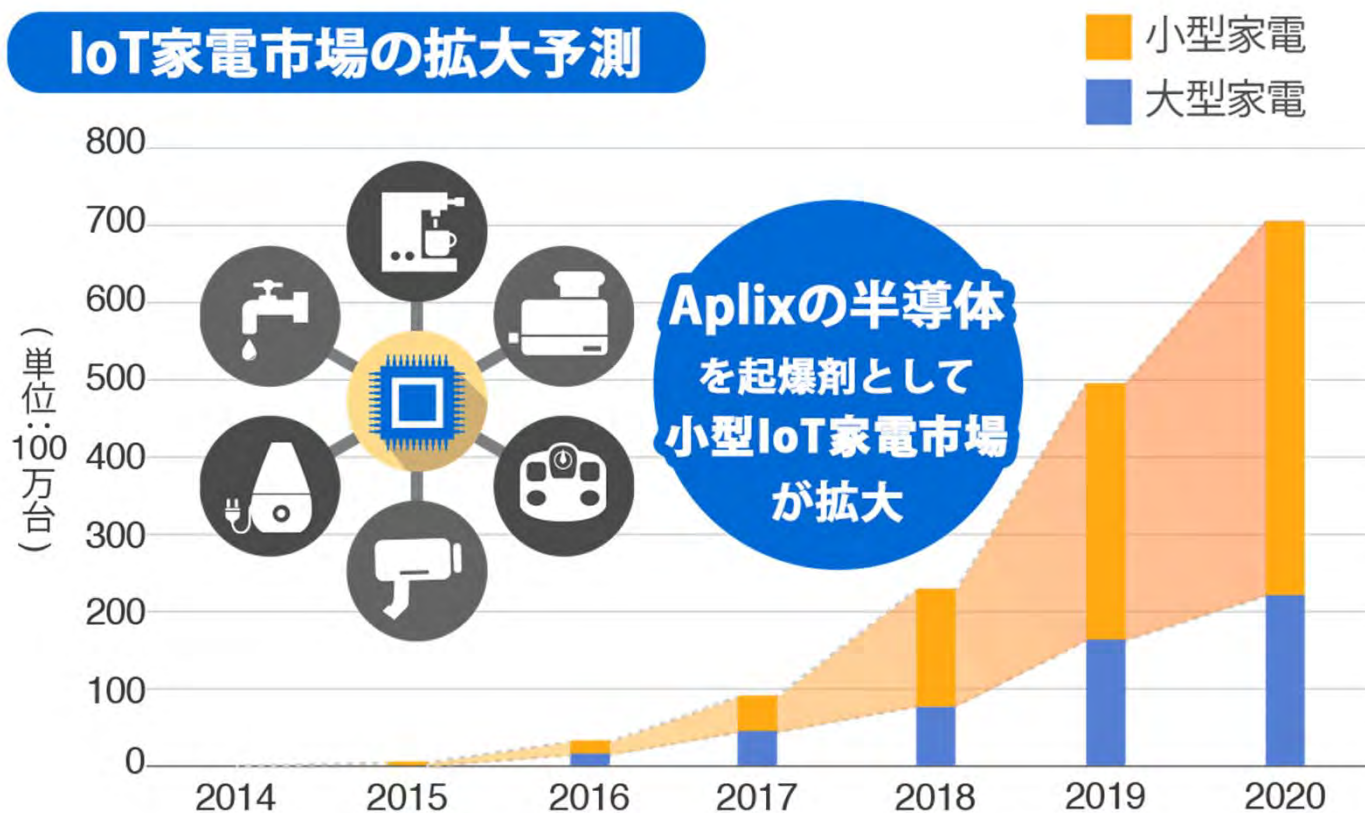


小型家電も簡単にIoT化

Aplix

AplixのIoT技術が「IoT市場発展の起爆剤」に

IoT家電市場の拡大予測



年間7億台となる
ターゲット市場

補足資料 - Appendix

アプリックス：会社概要



◆ 会社名

アプリックス I Pホールディングス株式会社
[英文表記：Aplix IP Holdings Corporation]

◆ 本社所在地

〒160-0051
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

◆ 設立年月日

1986年2月22日

◆ 資本金

13,416百万円 [2015年12月末現在]

◆ 売上高

1,532百万円（連結） [2015年12月期]

◆ 従業員数

136名（連結） [2015年9月末現在]

◆ 役員

代表取締役 兼 取締役社長	郡山 龍
取締役	長橋 賢吾
社外取締役	黒崎 守峰
常勤監査役	根本 忍
社外監査役	野間 幹晴
社外監査役	新田 喜男

◆ 事業内容

テクノロジー事業
出版映像等事業

◆ グループ会社

株式会社アプリックス
フレックスコミックス株式会社
株式会社ほるぷ出版
Aplix Corporation of America
Aplix Ireland Limited
アプリックスIPパブリッシング株式会社 他

マネジメントチーム



郡山龍（代表取締役CEO）

早稲田大学理工学部在学中にマイクロソフト社入社。1986年ソフトウェアの開発を目的として、(株)アプリアックス設立CD-ROM書き込み装置、CD-I、DVI関連システムなどを開発する。1997年に発表した家電等の組み込み向けのJavaプラットフォーム「JBlend」は、世界中の家電、携帯電話に組み込まれ、世界シェア3割まで拡大、2003年、アプリアックスを東京証券取引所マザーズ株式上場に導く。現在は、「IoTを実現する技術」で新しいビジネスモデルを開拓。

石黒 邦宏（CTO）

北海道大学農学部を卒業後、株式会社SRA、ネットワーク情報サービス株式会社を経て、株式会社デジタル・マジック・ラボでUNIXソフトウェアの開発、インターネット経路制御の運用に関わり、オープンソースウェアで経路制御を実現するGNU「Zebra」を開発。そして、「Zebra」をベースにした商用ソフトウェアである「ZebOS」を開発・販売するために、1999年10月、米国にてIP Infusionを創業。「ZebOS」は、世界中のルーターやスイッチメーカーに採用。元ACCES S取締役CTO。

長橋 賢吾（取締役CFO）

慶應義塾大学環境情報学部卒業。同大学院政策・メディア研究科修了、2005年東京大学大学院情報理工学研究科修了。博士（情報理工学）。英国ケンブリッジ大学コンピュータ研究所訪問研究員を経て、2006年日興シティグループ証券（現、シティグループ証券）にてITサービス・ソフトウェア担当の証券アナリストとして従事後、2009年3月フューチャーブリッジパートナーズ株式会社設立。2015年3月アプリアックスIPホールディングス（株）取締役・CFO・チーフエコノミスト。

黒崎 守峰（社外取締役）

インテル・ジャパンにてキャリアをスタートして以来、デジシステム・ジャパン、ウェスタンデジタル・ジャパンを経て1988年（株）アイシスを設立。同社の代表取締役社長として、シリコンバレーのIT系スタートアップ企業の日本進出を支援。日本のトップ企業との戦略パートナーシップ、ビジネス開発、日本支社設立に伴うマネジメントチームのリクルーティングからオフィスの立ち上げ、運用までシームレスにサポートした。経済産業省や総務省の事業・人材育成プログラムの委員の他、ARMのPacific Advisor、国内公開企業の役員等を兼任し、IT関連の日本企業、シリコンバレーの経営陣と、日本屈指のネットワークの広さを誇る。

創業から上場までの製品

1986年：創業

2003年：上場

NeXT Computer System用の
アプリケーションソフトを発売した
最初の日本企業



CD-ROM オーサリングツール



WinCD 6.0
Premium Package



DOS/V POWER REPORT Magazine
RECOMMENDED Product (GOLD
Prize)(Feb, 2001)

Logitec
CD-R/RW Drive for
Macintosh & Windows
LCW-R6406U



DOS/V magazine 2000/8/15
Technical Test Labs
Tester's Choice & Observer's
Choice



Panasonic
CD-R/RW Drive for USB Interface
LK-RW7585UZ



IBM
Aptiva Series



SONY
Portable CD-R/RW Drive
CRX76A / CRX76U

カーナビゲーションシステム

TOYOTA

SONY

MITSUBISHI

Panasonic



Pioneer

ALPINE

DENSO FUJITSU TEN

KENWOOD



コンシューマ製品向けJava



Sony Electric
Digital Photo Album
DMA-100



Sony Electric BS/CS Digital TV



Sony
digital video camera
MD-DISCAM
DDMH1



Sony Digital photo printer
DPP-SV88



Pioneer Digital STB for CATV
BD-V500

Powered by



Sony
Electric POS Terminal
M8C-V100



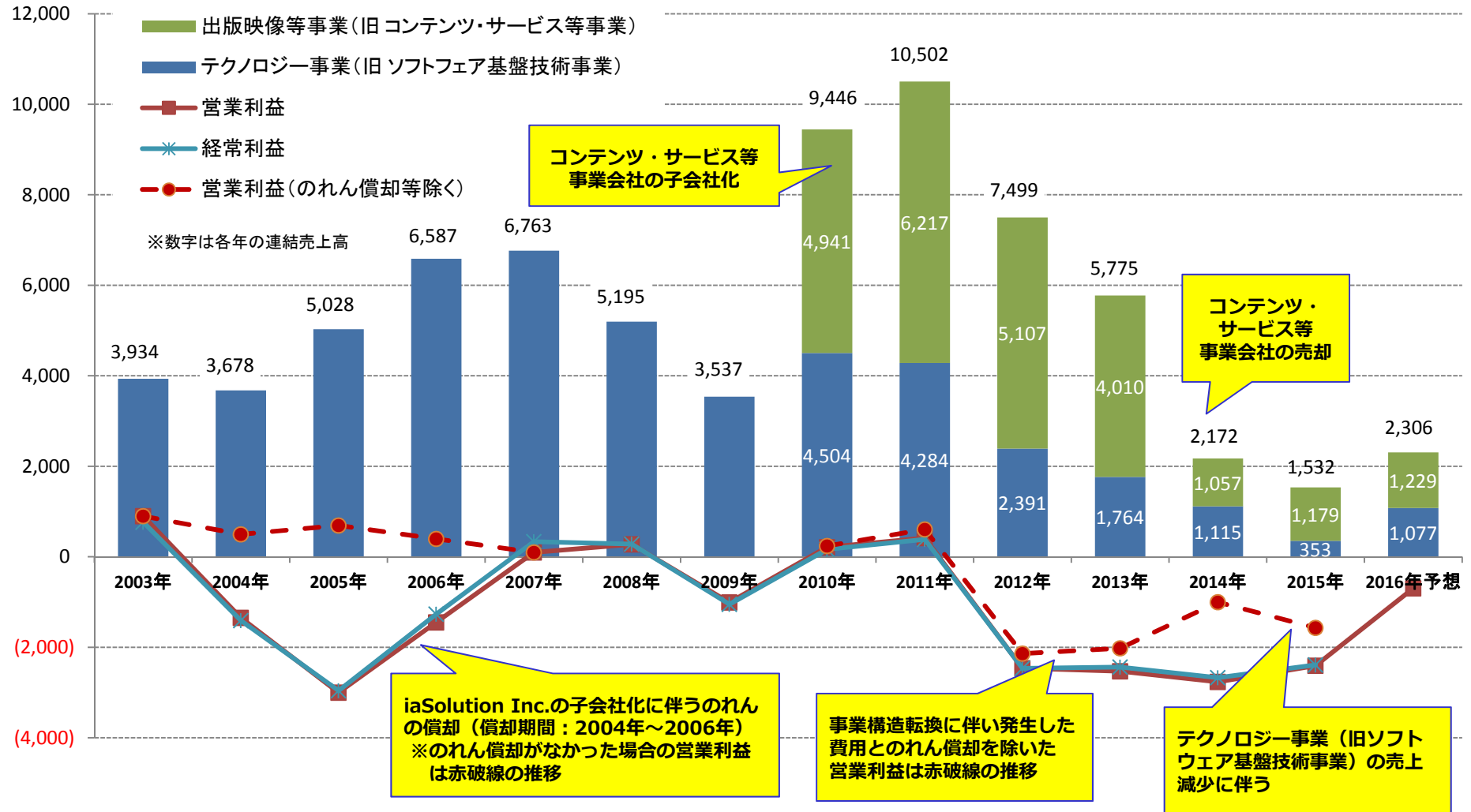
RFU based palm
size computer
BossaNova



Nissan/Sony
Car
navigation
system
H8760C-A

旧来事業の整理を完了して、IoTスタートアップ企業として再スタート

(単位:百万円)





アプリックスIPホールディングス

IoT事業
IoTビジネス



IoTモジュール

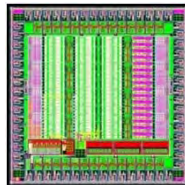


アプリ

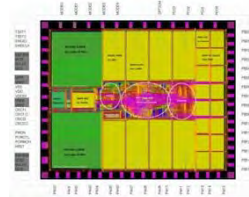


クラウドサービス

SoC事業
IoT向け半導体
開発・製造



アナログチップ
試作



デジタルチップ
試作

特許事業
IoT特許の管理

ビーコン関連
特許40件
(システム、
アプリ、認証
サービス)

出版事業
コミック・絵本



ほるぷ出版



フレックスコミックス

Aplix



アプリックスIPホールディングス株式会社

<http://www.aplix-ip.com/>

株式会社アプリックス

<http://www.aplix.co.jp/>